

うた
音楽のある街

かまにしコンサートのおゆみ



目 次

ご挨拶	p.2
記念誌の発刊にあたって	p.4
第1章 「みちづかジョイントコンサート」の“誕生とあゆみ”	p.5
第2章 「かまにしコンサート」の“誕生とあゆみ”	p.9
第3章 「ポスター」の“あゆみ ”	p.13
「かまにしコンサート」思い出のアルバム	p.14
あとがき	p.16



ご挨拶

大田区長 松原 忠義

道塚自治会の皆様、この度は「かまにしコンサートのあゆみ」の発行おめでとうございます。

“かまにしコンサート”は“みちづかジョイントコンサート”を引き継ぐ形で、道塚自治会の方が中心となって実施し、蒲田の地域活性化に大きく寄与されています。

出演する団体も年を追うごとに増え、若者から高齢者、外国の方々などの様々な演奏や合唱が楽しめるコンサートとなっています。運営についても、学生ボランティアや地域の方が積極的に携わり、まさに地域の力が結集した手づくりの催しとなりました。こうした運営者側の地道な努力が地域のつながりを一層強固なものにし、大田区の掲げる「地域力の向上」を担っていただき、大変うれしく思っております。

これまでの関係者のご努力が実を結び、本年度から蒲田西地区自治会連合会の事業として位置づけられ、名実ともに蒲田西地区のイベントに成長いたしました。

今後も、“かまにしコンサート”がさらに発展し継続していくことを心から期待しております。

最後に、道塚自治会の益々のご発展と皆さまのご健勝を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。



かまにしコンサートに寄せて

蒲田西地区自治会連合会

会長 藏方 庸光

“かまにしコンサート”は当初蒲田西地区の4団体でスタートし、地元のコンサートとして発展してきました。その後、年々出演者も多く音楽の幅も広がりますますます活気あるコンサート

となりました。

これもひとえに花島会長を中心にした道塚自治会役員、又コンサートの実行委員の皆様のご行動力とご苦労の賜物と敬意を表します。

その間は後援とは名ばかりの微力な自治会連合会でした。しかしこの度、蒲田西地区自治会連合会が主催することとなり責任の重さを感じているところです。今までの運営に対する認識が希薄な為、これからも実行委員の皆様のお力をお借りして行かなければなりませんので、今後ともよろしくご協力のほどお願いいたします。

東日本大地震後も音楽が被災者の心を癒し、温めたと聞いた事があります。音楽を通じ人々の輪が広がり“かまにしコンサート”がますます地元の皆様に愛され、親しまれるコンサートになりますように祈念いたします。





お 祝 い の 言 葉



道塚自治会会長 花島 文雄

冊子「かまにしコンサートのあゆみ」の発行を心からお祝い申し上げます。

ご存知の通り、“かまにしコンサート”は平成21年に創立され、本年で創立8周年を迎え、道塚自治会は平成22年来、主催者としてこの活動を支えて参りました。

この様な文化活動を自治会が支える事は都内にあっても稀な事で、然も東京都の助成金（地域の底力再生事業助成）を基に当自治会の下で今日まで運営できたのも、“かまにしコンサート”実行委員会の尽力ばかりでなく、当自治会の会員の皆様の積極的な支援があってこそ実現できたものと自負しております。

この“かまにしコンサート”の活動も年々成長し、今では出演者も西蒲田全地域に広がり、自治会が単独で運営する域を超えるほどになり、本年“第8回かまにしコンサート”は“蒲田西地区自治会連合会”の下で主催されることになりましたので、この節目に記念誌が発行されることになりました。

当自治会としては、今後も”生みの親”として責任を持って積極的に運営し、発展させる所存であります。

どうか、“かまにしコンサート”の皆様、この文化活動が末永く続くようご尽力下さい。当自治会もできる限りの支援を致します。

ありがとうございました。



感 謝 の 言 葉

元道塚小学校長、元おなづか小学校長 野崎 仁

記念誌の発刊に当たりまして、多くの方々のご指導ご支援によりコンサートが始まり発展してきたことに、改めて感謝申し上げます。道塚小学校の合唱団の卒団生をお祝いする“お別れコンサート”に地域のコーラスグループが参加する“みちづかジョイントコンサート”。趣旨に賛

同してくださった音楽専科の藤田純子先生、運営面にご尽力くださった井出稔恵教頭先生、合唱団の保護者の皆様、道塚大地の会の皆様、道塚小学校の第2音楽室を利用しておられた“みちづかコーラス”の皆様のご協力なしには開催できませんでした。道塚小学校第一期卒業生の山田和江様は毎回のように駆けつけて後輩の活躍を見守って下さいました。“みちづかジョイントコンサート”は、合唱団を卒団する子ども達の努力を、地域の方々とともに讃え励まし前途を祝し、卒団生を温かく包み込む感動的なコンサートとして誕生しました。

そして、“かまにしコンサート”に。“みちづかコーラス”代表の加藤公子様の立ち上げへのご労苦は筆舌に尽くせません。蒲田音楽学園の山田皓一先生、道塚自治会の花島文雄会長様、道塚自治会、蒲田西地区自治会連合会の皆様にご絶大なご支援を賜りました。出演団体が増え交流の輪が大きく広がりました。蒲田西特別出張所のご配慮で大田区民センター音楽ホールをお借りできました。大田区長 松原忠義様には毎回のコンサートにお祝いのお言葉を賜りました。多くの皆様方に重ねて感謝申し上げます。

音楽は国境を越え歌は世界をつなぎます。地域は世界に開いています。コンサートを通して「歌のあるまち」「笑顔であいさつを交わすまち」に、交流する中で老若男女が学び合い、そして子ども達が平和で活力ある社会の形成者として育ちゆくことを願っています。蒲田西地区の地域文化として“かまにしコンサート”がさらに発展されることを祈ります。





みちづかジョイントコンサートの運営に携わっての思い出



元道塚小学校教頭・副校長 井出 穂恵

平成15年3月8日“みちづかジョイントコンサート”はスタートしました。スタートできることがどれほど嬉しかったことが、今でも忘れられません。「うたのある街」への始まりでした。

道塚小学校は、地域の方々の学校施設の利用度が大変に多いところです。当時の第2音楽室は、地元の「みちづかコーラス」が定期的に利用されていました。コンサートが近づくにつれて練習回数が増え、コーラスメンバーと玄関でお会いすることも多くなってお話しする機会も増えました。ご高齢の方も多く地元の区民センター・音楽ホールで発表できることが無性にうれしいようで、「冥土の土産にしたい」と感動をお話しされた方もいらっしゃいました。

学校から始まった主催でした。開催に向けての準備で一番の思い出は、区民センター・音楽ホールの壇上に吊るす“みちづかジョイントコンサート”の横断幕づくりでした。拡大コピーにかけ、職員室前の廊下に約7メートルの感熱紙を並べました。折り目や爪を立てると黒い線が出てしまうので気を遣いました。道塚大地の会の岩井定子さんには庶務担当の運営委員としていつも精力的に応援をいただきました。後に“かまにしコンサート”になってから、道塚自治会長 花島文雄氏のご厚意で見事な横断幕と壇上の「めぐり」のご寄贈を頂き、今日も利用させていただいております。

今後、蒲田西地区自治会連合会主催として、“かまにしコンサート”が地域の中で益々発展していけますことを期待しております。



記念誌の発刊にあたって

“かまにしコンサート”が誕生し、今年で8年になりました。今年主催が替わる節目を記念して、その「誕生」と「あゆみ」の記録をまとめ、これまでお世話になった地域やその関係者の皆様に感謝すると同時に、これまでの成り立ちを多くの皆様にご理解頂きたく、冊子を発行する運びとなりました。

思い出のアルバムと共にご覧いただけますと幸いです。

第1章「みちづかジョイントコンサート」の“誕生とあゆみ”

《 はじめに 》

“みちづかジョイントコンサート”は、平成15年3月8日（土）に第1回を開催し、平成19年3月24日（土）の第5回をもって幕を閉じました。1年間のブランクの後、引き継ぐ形で“かまにしコンサート”が始まりました。“かまにしコンサート”は道塚自治会が主催してこられましたが、今後は蒲田西地区自治会連合会が主催することになります。学校と地域の交流をもとに誕生したコンサートが、地域の皆様に愛されて広く深く根を張ろうとしているこの時に、創始者として、そのあゆみを記しておきたいと思えます。

それは、平成13年4月から始まります。21世紀の最初の年度です。翌平成14年度からは学校週5日制の完全実施です。当時、大田区は「地域ぐるみで子どもを育てる」方針を打ち出していました。道塚小学校としてこの方針を具体的な形にしようと模索しました。

「学区の特色」「学校の特色」について多くの方々に来て話を聞きました。そして、「地域ぐるみで子どもを育てる」具体的な姿として「学校が地域と交流する中で子ども達を育てる」活動を展開しようと考えました。その一つとして、合唱の盛んな道塚小学校の伝統を活かして地域と交流するコンサートを創ることを決めました。それまでの道塚小学校が行ってきた合唱団の「お別れコンサート」を発展させ、名称を“みちづかジョイントコンサート”としました。

“みちづかジョイントコンサート”を実施するに当たり次の事柄を大事にしました。

- ① 道塚小学校の子ども達の演奏を地域の多くの方々に来ていただく機会とすること
- ② 地域の音楽グループの参加をいただくこと
- ③ 合唱団を卒業した子ども達が翌年はコンサートの運営に携わること

です。

学校関係以外の方で道塚小学校合唱団の子ども達の演奏を聞く機会は限られていました。「地域の多くの方々に来て子ども達の演奏を聞かせてあげたい、そのことが子ども達にとって励みになる」と思いました。

「幅広い年代の方々による様々なジャンルの演奏は、子ども達の音楽の世界を広げるに違いない」、そして「合唱団の卒業生が運営に携わることで、お世話になったことへの感謝の思いを形に表したい」と願いました。

また、“みちづかジョイントコンサート”を通じて、子ども達と地域の大人とが顔見知り・顔なじみの間柄が築かれていくものと期待しました。災害時における避難所の運営や要支援者への活動等が円滑に行われるために、地元にいる中学生の力を借りなければなりません。安全・安心の町づくりにも寄与できるのではないかと考えました。

《 第1回 みちづかジョイントコンサート 》

- (1) 開催日 平成 15 年 3 月 8 日 (土)
 (2) 会 場 大田区民センター音楽ホール
 (3) 主 催 出演する4つの団体による共催
 (4) 出演団体
 道塚小学校合唱団
 道塚ジュニアバンド (金管バンド)
 道塚女声合唱団 (PTA コーラス)
 みちづかコーラス
 (地域のコーラスグループ)
 (5) チラシ・ポスターの作成
 井出千尋さん (第4回まで)



《 第2回 みちづかジョイントコンサート 》

- (1) 開催日 平成 16 年 3 月 27 日 (土)
 (2) 会 場 大田区民センター音楽ホール
 (3) 主 催 道塚ワークショップ事務局
 (4) 出演団体
 道塚小学校合唱団、道塚ジュニアバンド
 道塚女声合唱団、みちづかコーラス
 卒団生・小学生・PTA コーラスの合同演奏
 (5) 卒団生が運営に携わる
 この回から卒団生がコンサートの司会、設
 営 (楽器・指揮台・譜面台・山台等の出し
 入れ)、ご来賓の案内等に携わる。



《 第3回 みちづかジョイントコンサート 》

- (1) 開催日 平成 17 年 3 月 26 日 (土)
 (2) 会 場 大田区民センター音楽ホール
 (3) 主 催 第3回みちづかジョイントコンサート実行委員会
 道塚ワークショップ事務局
 大田区教育委員会
 後 援 大田区社会福祉協議会
 協 力 道塚自治会
 (4) 出演団体
 道塚小学校合唱団、道塚ジュニアバンド
 道塚女声合唱団
 みちづかコーラス
 マムズ・プレイズ
 (ゴスペルを演奏する地域のグループ)
 (5) チラシ・ポスターのキャラクターの名称
 「おんぶちゃん」「とおんくん」と命名する。
 (道塚小学校の子ども達からキャラクターの名前を募集)



《 第4回 みちづかジョイントコンサート 》

- (1) 開催日 平成 18 年 3 月 25 日 (土)
 (2) 会 場 大田区民センター音楽ホール
 (3) 主 催 第4回みちづかジョイントコンサート実行委員会
 道塚ワークショップ事務局
 大田区教育委員会
 後 援 大田区社会福祉協議会
 協 力 道塚自治会
 協 賛 御園自治会、小林自治会
 新蒲田一丁目自治会
 西蒲田八丁目町会
 多摩川二丁目町会
 トミン多摩川二丁目自治会
 道塚小学校区青少年対策地区委員会

(4) 出演団体

道塚小学校合唱団、道塚ジュニアバンド
 道塚女声合唱団、みちづかコーラス
 マムズ・ブレイズ

* 大田区家庭・地域教育力向上支援事業の指定を受ける。



《 第5回 みちづかジョイントコンサート 》

- (1) 開催日 平成 19 年 3 月 24 日 (土)
 (2) 会 場 大田区民センター音楽ホール
 (3) 主 催 みちづかジョイントコンサート実行委員会
 道塚ワークショップ事務局
 大田区教育委員会
 後 援 大田区社会福祉協議会
 協 賛 道塚自治会、御園自治会、小林自治会
 新蒲田一丁目自治会
 西蒲田八丁目町会
 多摩川二丁目町会
 トミン多摩川二丁目自治会
 道塚小学校区青少年対策地区委員会

(4) 出演団体

道塚小学校合唱団、道塚ジュニアバンド
 道塚和太鼓チーム(前年10月に発足。授業で和太鼓を学び魅力にはまった9人の5年生のチーム)
 道塚三味線チーム
 (この年の1月に発足した5年生5名、6年生5名のチーム)
 みちづかコーラス、道塚小学校PTA

(5) チラシ・ポスターの作成者

道塚小学校6年生 佐藤純穂さん



《 かまにしコンサートへ 》

“みちづかジョイントコンサート”は第5回をもって終止符を打ちました。諸般の事情があったことと思われませんが、これまで出演いただいたコーラスグループや地域の多くの方から続けてほしいとの声が“みちづかジョイントコンサート”の創始者に寄せられました。再興するかどうか、コンサートに関わってこられた方々と何回も話し合いを持ちました。その結果、“みちづかジョイントコンサート”の経験を踏まえて新しい形で地域のコンサートを創っていこうと決めました。それが“かまにしコンサート”です。

《 おわりに 》

「みちづかジョイントコンサートの誕生とあゆみ」を締めくくるにあたり、紙面をお借りして、道塚自治会の花島文雄会長はじめ道塚自治会の皆様、道塚小学校の学区域の町会・自治会の皆様に“みちづかジョイントコンサート”へ心からのご支援を賜りましたことを深く感謝申し上げます。最後になりますが、平成21年3月28日（土）に開催された「第1回 かまにしコンサート」での実行委員長のお礼の言葉を紹介しまして結びにいたします。

《 実行委員長のお礼の言葉（抜粋） 》

「私達はこのコンサートの開催を心から願ってきました。それぞれの演奏団体は蒲田西地区の学校を練習会場にしています。練習の成果を披露したり、様々なジャンルの演奏団体が交流して幅広い音楽に親しんだり、老若男女が一堂に会してコンサートを行ったらなんと素敵なことか、と夢に見る思いでした。それが、今、実現して本当にうれしく思います。コンサートを通して、蒲田西のみんなが笑顔でなかよく暮らし、『住みよいまち蒲田西』『歌声のあるまち蒲田西』をみんなで盛りたてていかれればと願っております。回を重ねるごとに、多くの演奏団体の皆様にご出演いただいて交流し、蒲田西のまちの文化の伝統としていかれたらと願っております。」

文責：野崎 仁（元道塚小学校長、元おなづか小学校長）

第3回 おんぶちゃんバージョン



第5回 児童の絵のプログラム表紙



第2章 「かまにしコンサート」の“誕生とあゆみ”

“みちづかジョイントコンサート”が終わりましたが、「みちづかコーラス」が主体となって、それを引き継ぐ形で“かまにしコンサート”が開催されるようになり、無事育ち現在に至っております。

1) 第一回

1. 開催日 平成21年3月28日(土)
2. 会場 大田区民センター
3. 主催 「かまにしコンサート」実行委員会
4. 出演 4団体

- ・おなづか小学校チャンゴスターズ
- ・ウリパラム
- ・マリンスノー
- ・みちづかコーラス

- * この主体になったのは、当地「みちづかコーラス」グループで、僅か15名足らずの“おばーちゃん軍団”が実行委員となり、道塚地区以外の団体にも声をかけ、開催を実現させました。

この模様は大田ケーブルにて放映され、将来の発展を期待させるものであります。



2) 第二回

1. 開催日 平成22年3月6日(土)
2. 会場 大田区民センター
3. 主催 道塚自治会
4. 出演 9団体

- ・南蒲幼稚園
- ・おなづか小学校チャンゴスターズとウリパラム
- ・プレシャス プレイズ
- ・Genesis Youth Chor ・マリンスノー
- ・道塚幼稚園 ・みちづかコーラス
- ・御園中学校

- * 第一回の反響も良く、参加団体の数も増えこの回より道塚自治会が主催となりました。



3) 第三回

1. 開催日 平成23年3月5日(土)
2. 会場 大田区民センター
3. 主催 道塚自治会
4. 後援 蒲田西地区自治会連合会
5. 助成 大田区国際都市助成事業
6. 出演 12団体

- ・道塚幼稚園 ・多摩川諏訪囃子
- ・みちづかコーラス ・南蒲幼稚園
- ・Genesis Youth Chor ・ウリパラム
- ・おなづか小学校PTA ・御園中学校
- ・蒲田音楽学園保育園 ・マリンスノー
- ・プレシャス プレイズ ・安方中学校

- * 今回から「蒲田西地区自治会連合会」が後援していただきました。
- * 道塚自治会 花島文雄会長より立派な横断幕・立看板が寄贈されました。
- * 大田区国際都市助成事業となりました。
- * 今回から中学生が司会・案内・裏方などの運営に携わります。



4) 第四回

1. 開催日 平成24年3月10日(土)
2. 会場 大田区民センター
3. 主催 道塚自治会
4. 後援 蒲田西地区自治会連合会
社会福祉法人大田区社会福祉協議会
5. 助成 「東京都地域の底力再生事業助成」
6. 出演 10団体

- ・南蒲幼稚園 ・多摩川諏訪囃子
- ・プレシャス プレイズ ・マリンスノー
- ・蒲田音楽学園保育園 ・道塚幼稚園
- ・みちづかコーラス ・Genesis Youth Chor
- ・ウリパラム ・御園中学校

- * 「社会福祉法人大田区社会福祉協議会」が後援していただきました。
- * 「東京都地域の底力再生事業助成」の対象事業になりました。
- * 道塚自治会 花島文雄会長より立派な「めぐり」が寄贈されました。
- * 前年3月に発生した東日本大震災の復興支援のため、募金活動を行いました。御園中学校の生徒の皆さんが会場内を募金箱を持って歩き声かけをしてくれました。この回以降毎回募金活動をしています。中学生が運営に携わっていることが特徴です。



5) 第五回

1. 開催日 平成25年3月9日(土)
2. 会場 大田区民センター
3. 主催 道塚自治会
4. 後援 蒲田西地区自治会連合会
社会福祉法人大田区社会福祉協議会
5. 助成 「東京都地域の底力再生事業助成」
6. 出演 12団体
 - ・道塚幼稚園 ・ウリパラム
 - ・プレシャス プレイズ ・マリンスノー
 - ・Genesis Youth Chor ・南蒲幼稚園
 - ・みちづかコーラス ・花みずき
 - ・御園中学校 ・多摩川諏訪囃子
 - ・おなづか小学校
 - ・おなづか小学校 PTA



- * 平成25年「第48号 かましし」に特集掲載されました。
- * 再度、大田ケーブルにてテレビ放映があり、地域の皆様に広く知られるようになりました。

6) 第六回

1. 開催日 平成26年3月8日(土)
2. 会場 大田区民センター
3. 主催 道塚自治会
4. 後援 蒲田西地区自治会連合会
社会福祉法人大田区社会福祉協議会
5. 助成 「東京都地域の底力再生事業助成」
6. 出演 15団体
 - ・南蒲幼稚園 ・花みずき
 - ・プレシャス プレイズ ・多摩川諏訪囃子
 - ・おなづか小学校 ・カマテット
 - ・おなづか小学校 PTA ・ウリパラム
 - ・安方中学校 ・道塚幼稚園
 - ・みちづかコーラス
 - ・Genesis Youth Chor
 - ・御園中学校
 - ・下丸子ほほえみ合唱団 ・マリンスノー



- * 「おた写真ニュース」に取り上げていただきました。
- * 城南タイムス4月6日号に「“かまししコンサート” 成功に終わる」と写真と共に掲載されました。

7) 第七回

1. 開催日 平成27年3月14日(土)
2. 会場 大田区民センター
3. 主催 道塚自治会
4. 後援 蒲田西地区自治会連合会
社会福祉法人大田区社会福祉協議会
5. 助成 「東京都地域の底力再生事業助成」
6. 出演 16団体

- ・道塚幼稚園 ・道塚小学校
- ・プレシャス プレイズ ・おなづか小学校
- ・下丸子ほほえみ合唱団
- ・新蒲田ファミリーバンド
- ・おなづか小学校PTA ・多摩川諏訪囃子
- ・南蒲幼稚園 ・相生子ども手話の会
- ・御園中学校 ・みちづかコーラス ・ウリパラム
- ・カマテット ・Genesis Youth Chor ・マリンスノー

* 道塚小学校他2団体が参加して、今までで最多の16団体になりました。
コンサートは更に賑やかに力強いものになりました。



全員合唱の思い出

- | | |
|-----|------------|
| 第一回 | 「みかんの花咲く丘」 |
| 第二回 | 「花」 |
| 第三回 | 「故郷」 |
| 第四回 | 「上を向いて歩こう」 |
| 第五回 | 「花は咲く」 |
| 第六回 | 「翼をください」 |
| 第七回 | 「若者たち」 |



第3章 「ポスター」の“あゆみ”

“かまにしコンサート”のポスターに2人のキャラクターがいることにお気づきですか。“みちづかジョイントコンサート”の初めからポスター製作に関わってこられた井出千尋さんにお聞きしました。

- 毎回2人のキャラクターが登場しています。名前がありますか。

千尋 「とおんくん」と「おんぶちゃん」の2人です。

- 千尋さんはコンサートの初めから描かれていますね。

千尋 ええ。「第1回みちづかジョイントコンサート」のポスターの製作を道塚小学校から依頼されました。その時は当然のように男の子と女の子を描きました。「第2回みちづかジョイントコンサート」では、大きな楽器を持った子ども、というコンセプトにしたので「とおんくん」「おんぶちゃん」という概念はほぼありませんでしたが、第1回と同じ女の子にしており、公式のキャラクターの概念が生まれ始めています。

- 「第3回みちづかジョイントコンサート」から登場していますね。

千尋 そうです。実行委員会に「一貫して男の子と女の子のキャラクターをつくる」ことを提案しました。そして、道塚小学校の子どもたちにキャラクターの名前を募集しました。多くの子どもたちが応募してくれました。うれしかったです。その中から2人の名前を「とおんくん」と「おんぶちゃん」に決めました。ポスターも「とおん版」と「おんぶ版」の2タイプがあります。「第4回みちづかジョイントコンサート」のポスターでは描かれている仕草から「とおんくん」「おんぶちゃん」の性格も徐々に決定してきています。

- コンサートの回数を重ねるにつれてキャラクターが進化し、ポスターのデザインも変わってきていますか。

千尋 「第1回かまにしコンサート」は開催までの期間が短かったので、たくさんの人に集まってほしい、来てほしいという願いが一番強かったデザインかもしれません。このころからお供として動物を出すように決めました。「第2回かまにしコンサート」では、ポスター・チラシをカラーにすることを実行委員会に提案しました。そして、「とおんくん」は髪の毛が青、「おんぶちゃん」は髪の毛を緑色にして、コンサートのコンセプトに沿うよう「若々しさ」「楽しさ」などをイメージしたものとしました。

- 掲示板に貼られた『かまにしコンサート』のポスターは鮮やかで歩いている方々の目に飛び込んできます。間もなく蒲田西地区自治会連合会主催の「第8回かまにしコンサート」です。今年はどのようなコンセプトですか。

千尋 道塚自治会主催から蒲田西地区自治会連合会主催へと大きく発展してきています。今年のポスターは、たくさんの音を「積み重ねて」ここまで来ました！という様子を出すように構成しています。

- 楽しみです。ありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。

※ 「とおんくん」と「おんぶちゃん」の著作権は井出千尋に帰属します。



千尋さん



井出千尋夫妻

“かまにしコンサート” 思い出のアルバム

撮影：加藤 満









募金活動







道塚小学校一期生 山田和江さん



フレッシュフェイス





花みずき



道塚幼稚園



道塚小学校



下丸子ほほえみ合唱団



おなづか小学校

バイオリンクラブ



早起き合唱クラブ



おなづか小学校 チャンゴスターズ



おなづか小学校 PTA



南蒲幼稚園



多摩川諏訪囃子



相生こども手話の会



御園中学校



みちづかコーラス

かまにしコンサート



ウリバラム



カマテット



Genesis Youth Chor



マリンスノー



新蒲田ファミリーバンド



あとがき

“かまにしコンサート”は創設以来、今年で第八回を迎えることができました。これも多くの地域の方や関係者のご協力があった実現できたもので、この機をかりて厚く御礼申し上げます。

“かまにしコンサート”は、その前身である“みちづかジョイントコンサート”が5回で終了した後に立ち上げ、その後は「道塚自治会」に主催して頂き今日までできましたが、参加者も増え、その地域の交流が広がりましたので、この「第八回」より「蒲田西地区自治会連合会」の下で開催されることになりました。それを記念してこの冊子を発行し、「道塚自治会」の業績を讃え、関係者の皆様に感謝申し上げる次第です。

毎回、出演団体も増え交流が深まる中、中学生の活躍には目を見張るものがありました。司会・進行を始め、来賓案内・裏方の山台の出し入れ・東日本大震災復興のための募金活動等々活躍し、とても頼もしく感心いたしました。

副実行委員長の花島学さん、庶務の岩井定子さん、実行委員やボランティアの方々の大きな力添えがあり、このコンサートを成功させることができました。また、この冊子発行に当たり、実行委員の佐々木朋子さんのご協力を頂き心より感謝申し上げます。

これからも皆様と力を合わせ、“かまにしコンサート”を発展させ、「蒲田西の顔」になれるようさらに飛躍して行きたいと思っております。

皆様方の更なる温かいご支援ご協力を、宜しくお願いいたします。

かまにしコンサート
実行委員長 加藤 公子

うた
音楽のある街 かまにしコンサートのあゆみ

平成28年3月12日発行

編集・発行 かまにしコンサート実行委員会
連絡先 道塚自治会
〒144-0051 東京都大田区新蒲田3-3-5

*表紙・裏表紙 「第8回かまにしコンサートポスター」より 製作者 井出 千尋



編集・発行 かまにしコンサート実行委員会